

演題名 関節リウマチの方の住改事例・脳梗塞の方の住改事例

御所属 パナソニックエイジフリー介護チェーン日野

植居 淳志

講師

内容

【1. 関節リウマチ住宅改修事例】

<お困りごと>

関節リウマチ(H5年発病) 要介護4 両膝に人工関節 室外・室内車椅子

①屋外の出入りの負担を軽減させたい。②寝室から直接トイレにいきたい。③自宅でリラックスした生活がしたい…。

<全体の動線を考えた計画実行>

①コンクリート床とレンタル段差解消機の組み合わせ 軒下の為 雨天時も外出可能。寝室床 ②:畳から木製フロアに変更し、お部屋～直接トイレへ入れるため 足こぎでの車椅子移動を1日平均約6回がんばっています。リフト付き便器へ変更(衣類の上げ下ろし 部分介助)(おしり拭く 介助)それ以外は全て本人ががんばっています。

【2. 脳梗塞住宅改修事例】

<お困りごと>

脳梗塞(H19・12月発病)要介護3 右麻痺 室内車椅子・4点杖移動 リハビリで段の上がり降り練習 呉服店を経営していたが、ご主人が脳梗塞により入院 呉服店を閉めて 1階での生活ができるようにしたい 店舗から居間の段差が高い 今までお店だったので、玄関がほしい 今までお店だったので、玄関がほしい…。

<打合せ経緯>相談⇒改修案提出⇒ご主人身体状況確認⇒改修案奥様・病院と打合せ⇒改修案再検討提出⇒ご成約⇒改修内容仕様打合せ⇒工事着工⇒ご主人退院

<改修ポイント>

①ご主人のリハビリの進行度に合わせた玄関作り ②室内車椅子利用のため施設用CFシート使用 ③玄関・寝室・トイレのみのシンプルな間取り構成 ④移乗・介助しやすい便器の向き・出入口 ⑤居住スペースとしての落ち着きと明るい雰囲気



改修ポイント⑤...居住スペースとしての落ち着きと明るい雰囲気



●椅子と床の間を広く確保し、移乗しやすいようにする。

●椅子と床の間を広く確保し、移乗しやすいようにする。

●椅子と床の間を広く確保し、移乗しやすいようにする。